

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 月 日

協議会名： 生駒市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
生駒交通株式会社 ■R6.10.1～R7.9.30 近畿日本鉄道(株)生駒線 南生駒駅を経由する、南コミュニティセンターせせらぎ～暗峠間の1系統の運行	■R6.10.1～R7.9.30 近畿日本鉄道(株)生駒線 南生駒駅を経由する、南コミュニティセンターせせらぎ～暗峠間の1系統の運行	・沿線地域を対象にコミュニティバスの利用促進の案内を全戸配布。 ・利用者の要望等を参考に、電車との乗り継ぎ時間を考慮し、ダイヤの見直しを実施・沿線住民に回覧・全戸配布により周知した。	A 計画どおり、事業は適切に実施された。	B 公共交通サービスの提供が無かった地域に、コミュニティバスを運行し、地域住民の利便性や生活交通の確保を図るという目標については、補助事業年度における交通不便地域での利用が1日あたり5.8人(前年度から0.1人減)、系統全体の利用は1日あたり19.4人(前年度から0.4人減)の実績となつた。 また定量的な目標として、 ①西畠線の年間利用者数(コロナ禍前9割): 3,620人 ②西畠線への生駒市公的資金投入額が運行費用に占める割合、西畠線の収支率: 30%以上 ③西畠線の収入(生駒市負担額): 975,300円を定めた。 ①は2,647人(目標3,620人) ②は24%(目標30%以上) ③は502,497円(目標975,300円)という結果となつた。 なお、今年度より定量目標が上記に定められており、昨年度までの定量目標も併記する。①交通不便地である5つの町で乗降する1日あたりの利用者数が、補助事業年度内4月1日時点での当該5つの町の住民基本台帳人口の合計に占める割合、 ②補助対象沿線での1日あたりの利用者数が、当該補助対象系統を利用する沿線町区の補助事業年度内4月1日時点での住民基本台帳人口の合計に占める割合、の2つを設定した。 ①は1.80%(目標1.36%)、②は2.18%(目標1.32%)であった。 地域の高齢化や人口減少が進んでいる中、地域と共に利用促進にも取り組んでいくものの、新たな定量目標に達しなかつたことから、評価をBとする。	当地区での生活交通の確保や地域の活性化という目的を達成するために、コミュニティバスの永続的な運行が求められるところであり、その実現のため、以下のような対策を継続し、交通不便地域での利用促進につなげる。 また、系統全体での利用率にも着目し、交通不便地域以外の地域での利用促進も図っていく。 ・沿線自治会における利用状況の共有 ・ミニバス利用の呼びかけだけではなく、具体的な利用例(買い物プラン等)の提示 ・市ホームページや広報紙を活用したコミュニティバスの周知 ・利用するきっかけをつくるイベントの実施 ・必要に応じてダイヤの見直し等、利便性向上のための運行内容の見直しを検討

A:事業が計画に位置づけられた目標を達成した(見込み)

B:事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)

C:事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年 月 日

協議会名:	生駒市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>当路線の沿線地区のうち西側部分は、当市の南西部の生駒山麓に位置する5つの町から構成されている。当該地区については、最寄りの鉄道駅からも1km以上の距離がありながら、人口が少ないとや道路が狭隘で勾配も急であることなどの地理的条件も相まって、当路線の運行を開始するまでは定期運行による公共交通サービスの提供がなされず、地域住民の自助努力により生活が送られてきた。しかし、昨今の高齢化の進展という社会情勢の変化に伴い、住民の自助努力のみでは、これまでどおりの生活を送ることが困難になると予測され、当該地域においては、居住人口の減少の進度度合い、地形的条件などから、他の地域よりその傾向がより顕著になると想定されていた。</p> <p>こういった状況を踏まえ運行を開始した本件補助対象路線は、当該地域と鉄道駅、医療機関、商業施設を結ぶ路線であり、地域の生活交通の確保を第一の目的とするものの、暗峠等へのハイキングコースや特徴的な飲食店などが立地する当該地域への市内外他地域からの来訪により、地域の活性化がもたらされるという副次的な効果も期待している。</p> <p>本件補助対象路線の利用者数は、乗車定員の制約もあり、比較的少ない状況で推移しているが、当該地区における日常の生活交通の確保は重要な課題であり、その役割を果たすコミュニティバスの継続的な運行は必要不可欠と考えている。</p>

生駒市地域公共交通活性化協議会（奈良県生駒市）2-1

事業名：令和7年度地域内フィーダー系統

概要

■ 路線の概要

生駒市コミュニティバス西畠線

南コミュニティセンターせせらぎ、業務スーパー・南生駒店を起点とし、商業施設、近畿日本鉄道生駒線 南生駒駅を経由し、交通不便地域に指定された、藤尾町、大門町、小倉寺町、鬼取町、西畠町を経由して暗峠終点に至る全長8.2～10.1kmの路線（主系統）

■運行の主体

生駒交通株式会社

■上位計画

生駒市地域公共交通計画(令和3年3月策定、令和5年12月一部改訂)



運行車両



石佛寺停留所



鬼取町停留所

基礎データ

■人口:11万6,207人(令和7年4月1日現在)

交通不便地域に指定された5町の人口:320人(令和7年4月1日現在)

面積など: 53.15 平方キロメートル

■合併状況:なし、過疎地域等指定:なし

■高齡化率:48.44%

(令和7年4月1日現在の交通不便地域における65歳以上人口の比率)

■ 系統数:令和6年10月1日～令和7年9月30日 : 1系統

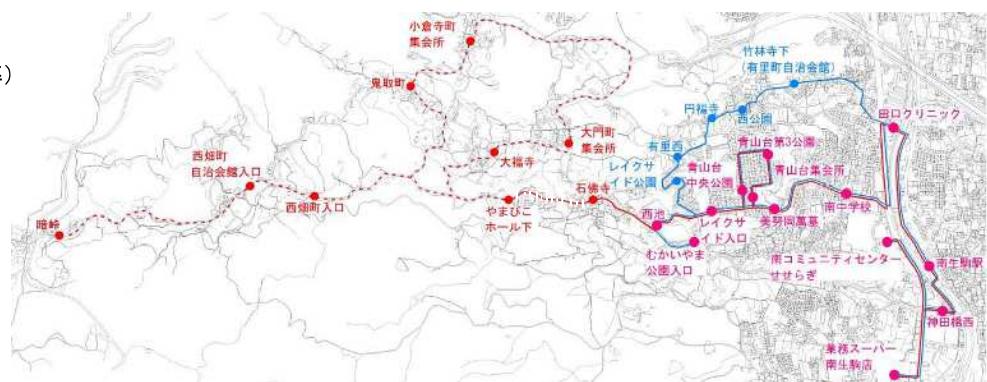
■運行回数:3, 5回(1往復で1回)

■自治体等負担額:令和6年度決算 3,967千円(全経費6,752千円のうち)

■協議会等開催状況(令和6年度)

- ・令和6年6月 第1回協議会開催
　　地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について
 - ・令和6年9月 第2回協議会開催
　　コミュニティバスの利用状況について
　　地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について
 - ・令和6年12月 第3回協議会開催
　　地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について
 - ・令和7年3月 第4回協議会開催
　　コミュニティバスの利用状況について

令和6年10月1日～令和7年9月30日



生駒市地域公共交通活性化協議会

(奈良県生駒市) 2-2

事業名: 令和7年度地域内フィーダー系統

目的 計画 目標 (P)

平成23年度に策定した生駒市地域公共交通総合連携計画においては、公共交通サービスの提供を行う地域を、地区の75歳以上人口の比率、公共交通サービスの有無、バス停や駅までの距離、勾配の緩急等に着目して評価し、選定した上で、それぞれの地域の状況に応じてサービス提供の優先順位も設定した。令和3年3月に策定した生駒市地域公共交通計画においては、西畠線の維持・確保を実施事業として位置づけている。

当地区は、最も寄りの既存公共交通機関(鉄道駅)までの距離、勾配が急であるなどの地域の状況から、最優先地区と位置付けられ、平成23年10月からコミュニティバスの実証運行を開始し、利用の状況等から平成24年10月から本格運行に移行している。

人口が少なく地形が急峻で、道路が狭いという地域の状況から、これまで定期運行による公共交通サービスが提供されてこなかった当地区においては、公共交通サービスを提供するに際しての目標として、①当地区での生活交通の確保、②当地区への来訪者の増加による地域の活性化、③これらの実現のための永続的な運行に必要な財源の確保に向けた利用率の維持向上の3点を掲げている。

取組みに対する評価 (C)

公共交通サービスの提供が無かった地域に、コミュニティバスを運行し、地域住民の利便性や生活交通の確保を図るという目標については、補助事業年度における交通不便地域での利用が1日あたり5.8人(前年度から0.1人減)、系統全体の利用は1日あたり19.4人(前年度から0.4人減)の実績となった。

また定量的な目標として、①西畠線の年間利用者数(コロナ渦前9割):3,620人②西畠線への生駒市公的資金投入額が運行費用に占める割合、西畠線の収支率:30%以上③西畠線の収入(生駒市負担額):975,300円を定めた。①は2,647人(目標3,620人)②は24%(目標30%以上)③は502,497円(目標975,300円)という結果となった。

自己評価から得られた課題、対応 (A)

当地区での生活交通の確保や地域の活性化という目的を達成するために、コミュニティバスの永続的な運行が求められるところであり、その実現のため、以下の対策を継続し、交通不便地域での利用促進につなげる。また、系統全体での利用率にも着目し、交通不便地域以外の地域での利用の促進も図っていく。

- ・沿線自治会における利用状況の共有
- ・コミバス利用の呼びかけだけではなく、具体的な利用例(買い物プラン等)の提示
- ・市ホームページや広報紙を活用したコミュニティバスの周知
- ・利用するきっかけをつくるイベントの実施
- ・必要に応じてダイヤの見直し等、利便性向上のための運行内容の見直しを検討

アピールポイント、特に工夫した点など

- ・平成29年11月: 経路検索アプリ(ヨルダン、令和元年6月からNAVITIME)でダイヤ検索を開始。
- ・令和5年1月: GTFSデータを整理し、google map上でのダイヤ検索を開始。
- ・令和5年8月: 「バス運賃100円DAY」を実施し、積極的に利用周知を図った。
- ・令和5年11月: 沿線地域を対象にコミバスの利用促進の案内を全戸配布。
- ・令和6年3月: 自治会が回数券を購入し、自治会員に配布。電車との乗り継ぎ時間を考慮し、ダイヤの見直しを実施。
- ・令和6年8月: バス利用を呼びかけるポスターを作成し、市内自治会の掲示板への掲出を実施。
- ・令和6年10月: 生駒市で開催された地域共生社会推進全国サミットにて、コミュニティバスの紹介パネルを展示。
- ・令和7年5月: 利便性向上のため、一部区間を自由乗降化。

具体的取り組み (D)

令和元年度:

年度内の年末年始を除く平日、241日において、1日8便(3. 5往復)を運行した。

令和2年度:

年度内の年末年始を除く平日、241日において、1日8便(3. 5往復)を運行した。

令和3年度:

年度内の年末年始を除く平日、243日において、1日8便(3. 5往復)を運行した。

令和4年度:

年度内の年末年始を除く平日、243日において、1日8便(3. 5往復)を運行した。

令和5年度:

年度内の年末年始を除く平日、244日において、1日8便(3. 5往復)を運行した。

令和6年度:

年度内の年末年始を除く平日、243日において、1日8便(3. 5往復)を運行した。

令和7年度:

年度内の年末年始を除く平日、243日において、1日8便(3. 5往復)を運行した。

各年度において、日毎の停留所毎の利用者数や運賃等収入、運行経費について、運行事業者の協力のもとに把握し、運行による効果につながる利用状況や永続的な運行につながる収支の状況について検証を行った。

近畿様式

生駒市地域公共交通活性化協議会

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

本市では、「市民の活動機会の保障」という公共交通の基本的な考えに基づき、「持続可能な公共交通サービスで誰もが円滑に移動でき、市民の活動機会が保障されているまち」を実現するため、公共交通のマスター・プランとなる「生駒市地域公共交通計画」を策定した。市民の生活を支えるとともに、まちづくりや観光分野等と連携し、様々な施策の展開を検討していく。

■地域特性

本市は、恵まれた自然環境や立地条件から、1960年代から良好な住宅都市、大阪等のベッドタウンとして発展してきた。近年、本格的な高齢社会を迎える中、早期に開発された計画的市街地では急速な高齢化が進んでおり、傾斜地において住宅開発が進められてきたこともあり、バス停までの坂道の徒歩移動が困難な人が増えてきている。また、団塊世代の定年退職を迎え、昼間時間帯に市内で過ごす暮らし方に対応したまちづくりが求められている。

■計画の基本方針

目指すべき将来像「持続可能な公共交通サービスで誰もが円滑に移動でき、市民の活動機会が保障されているまち」の実現に向けて、以下の3つの基本方針を定めている。

- ①公共交通サービスの提供による市民の活動機会の保障
- ②まちづくりと連携した公共交通サービスの提供
- ③市民・地元企業・行政等の協働による公共交通サービスの充実

■計画の目標及び期間

・期間

令和3年度～令和13年度の11年間

・目標

- ①買い物や通院の時間帯に合わせて、公共交通サービスを利用できる人の割合の向上
- ②都市拠点等へのアクセス性の向上
- ③たけまる号の1日あたりの利用者数の維持

公共交通ネットワークのイメージ図

添付資料①のとおり

2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

計画の指標と数値目標の設定・評価方法等

目指すべき将来像の実現に向け、計画の達成状況や効果を評価するために、基本方針に対応した指標と数値目標を設定する。

■基本方針① 公共交通サービスの提供による市民の活動機会の保障

目標

買い物や通院の時間帯に合わせて、公共交通サービスを利用できる人の割合の向上

目標の設定

買い物や通院の時間帯に合わせた公共交通サービスを提供することで、買い物や通院の活動機会を保障される人を増やす。

評価指標

買い物や通院の時間帯に合わせて、公共交通サービスを利用できる人（全市）の割合

- ・買い物の場合 現況値（R2）：80.1% 目標値（R13）：87.7%
- ・通院の場合 現況値（R2）：80.0% 目標値（R13）：87.8%

評価方法等

- ・使用するデータ：評価時点の地区別人口と公共交通サービス状況より把握する。
- ・評価時期：毎年

目標

地域公共交通の利用者数の維持・確保

目標の設定

買い物や通院の時間帯に合わせた公共交通サービスを提供することで、地域公共交通（鉄道、路線バス、たけまる号）の利用者数を増やす。なお、新型コロナウィルス感染症の影響による新しい生活様式への変容などに伴い、公共交通の利用者数はコロナ禍前までの水準には戻らない可能性が高い。そのため、公共交通の1日あたりの利用者数をコロナ禍前の9割に維持することを目指す。

評価指標

- ・地域公共交通の年間利用者数

現況値（R1）：2835万人 目標値（R13）：2551万人

評価方法等

- ・使用するデータ：生駒市統計書で公表されている各交通事業者の実績を計上する。
- ・評価時期：毎年

■基本方針② まちづくりと連携した公共交通サービスの提供

目標

都市拠点等へのアクセス性の向上

目標の設定

都市拠点が集積している拠点（都市拠点と地域拠点）への公共交通サービスを提供す

ることで、拠点での活動機会（交流等）を保障される人を増やす。

※都市拠点：生駒駅や東生駒駅。地域拠点：学研北生駒駅、南生駒駅。

評価指標

都市拠点へ、60分以内に到達できる人（全市）の割合

- ・生駒駅または東生駒駅周辺へのアクセス

現況値（R2）：68.4% 目標値（R13）：77.1%

- ・学研北生駒駅周辺へのアクセス

現況値（R2）：73.6% 目標値（R13）：94.9%

- ・南生駒駅周辺へのアクセス

現況値（R2）：46.4% 目標値（R13）：51.2%

評価方法等

- ・使用するデータ：評価時点の地区別人口と公共交通サービス状況より把握する。

- ・評価時期：毎年

■基本方針③ 市民・地元企業・行政等の協働による公共交通サービスの充実

目標

たけまる号の1日あたりの利用者数の維持

目標の設定

たけまる号の主な利用者である高齢者の運転免許保有率が増加しており、公共交通利用への転換が進みにくい状況にある。また、人口減少や生産年齢人口の減少に伴い、公共交通の利用者数は減少する可能性が高い。そのため、たけまる号の1日あたりの利用者数を現在の水準で維持することを目指す。

評価指標

1日あたりの利用者数

- ・たけまる号全路線の1日あたりの利用者数が、たけまる号を利用する沿線地区的住民基本台帳人口の合計に占める割合

現況値（R2）：2.32% 目標値（R13）：2.32%

評価方法等

- ・使用するデータ：生駒市統計書で公表されている各交通事業者の実績を計上する。

- ・評価時期：毎年

目標

たけまる号の事業効率の改善

目標の設定

たけまる号の運行にあたり、運行費用と運賃収入の差額を生駒市が負担している。持続可能な公共交通サービスの提供に向けて、たけまる号への生駒市公的資金投入額が運行費用の70%を下回る（=たけまる号の収支率が30%を上回る）ことをを目指す。

評価指標

公的資金投入額 たけまる号への生駒市公的資金投入額が運行費用に占める割合

・現況値（R4）

光陽台線：30.8%、門前線：30.3%、北新町線：57.4%、西畠・有里線：58.2%

萩の台線：82.1%、鹿ノ台線：68.9%

・目標値（R13）：生駒市公的資金投入額が運行費用の70%を下回る水準を維持
収支率 たけまる号の収支率

・現況値（R4）

光陽台線：69.2%、門前線：69.7%、北新町線：42.6%、西畠・有里線：41.8%

萩の台線：17.9%、鹿ノ台線：21.9%

・目標値（R13）：生駒市公的資金投入額が運行費用の70%を下回る水準を維持

評価方法等

・使用するデータ：たけまる号の実績を計上する。

・評価時期：毎年

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

目標を達成するために行う事業・施策

本市の地域公共交通が目指すべき将来像・基本方針や、果たすべき役割の実現に向けて、推進する事業・施策は次のとおりである。

基本方針	事業の方向性	具体的な事業
①公共交通サービスの提供による市民の活動機会の保障	①市民の日常生活における活動機会の保障	事業①：整備優先順位の高い地区への公共交通サービスの提供 事業②：買い物や通院等の時間帯に合わせた公共交通サービスの提供 事業③：公共施設等での多様なニーズに対応した公共交通サービスの提供
	②地域主体の公共交通サービスの検討	事業④：近隣の助け合い輸送等の導入に向けた検討
	③高齢者が安心して利用できる移動手段の確保	事業⑤：高齢者運転免許自主返納制度等との連携
②まちづくりと連携した公共交通サービスの提供	①まちづくりや観光分野と公共交通の連携	事業⑥：都市拠点等への公共交通サービスの見直し・改善 事業⑦：公共交通を利用して観光できる環境づくり
	②新しい技術の活用	事業⑧：学研高山地区等でのICTを活用した交通システム等の検討 事業⑨：MaaS等の技術を活用した乗継利便性向上の検討

③市民・地元企業・行政等の協働による公共交通サービスの充実	①公共交通サービスの運行形態や評価基準の改善・検討	事業⑩：たけまる号の運行形態の見直し・改善 事業⑪：公共交通サービスの新規運行や運行継続の水準の検討
	②公共交通の情報提供	事業⑫：公共交通・おでかけ情報等の広報媒体の作成 事業⑬：市広報誌やホームページ、SNS 等での情報発信 事業⑭：イベント等を通じた公共交通の利用啓発 事業⑮：モビリティ・マネジメントの実施
	③地元企業等との協働や連携の推進	事業⑯：企業や病院等の送迎バスとの連携 事業⑰：地元企業等との連携の推進（協賛金・企業広告等）

各事業の実施予定期間など

添付資料②のとおり

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
コミュニティバス	生駒市	平成 23 年	フ	西畠線

【種別】幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、推：計画推進事業
再策：再編計画策定事業、再推：再編計画推進事業

その他補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
該当なし			

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
コミュニティバス	生駒市	H17.11～	光陽台線
		H23.10～	門前線
			有里線
		H26.10～	萩の台線
		R6.1～	北新町線 鹿ノ台線

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
乗換案内アプリの利用開始	市のオープンデータのオープンサイトにコミュニティバスの時刻表を掲載し、平成29年11月から経路検索アプリ（ジョルダン、令和元年からNAVITIME）でダイヤ検索を開始した。	利便性の向上
たけまる号ご利用案内のリニューアル	市公式ホームページに掲載している、たけまる号ご利用案内について、令和3年9月より、時刻表やルート等を見やすいデザインにリニューアルした。	利便性の向上
バス運賃100円DAYの実施	市内を走る路線バス、コミュニティバスを1乗車100円で令和5年8月3～5日に実施した。いこまどんどこまつり等、市内のイベントに合わせて実施することで、普段バスを使わない層にもバスを利用するきっかけづくりのイベントを実施した。	利用者数増

4. 具体的取組に対する評価

令和3年3月に協議会において策定した地域公共交通計画では、市民等へアンケート調査や事業所等へのヒアリングを実施するとともに、本市が抱える現状と課題等を分析し、公共交通の在り方、今後の方針及び事業の方向性等を議論した。引き続き具体的な事業実施に向け、協議会において議論を進めていく。

また、西畠・有里線において、令和6年3月に利用者の要望等に基づいて、電車との乗り継ぎ時間を考慮し、ダイヤ改正を行った。萩の台線において、評価基準を満たさないことから、令和6年4月から週5日運行から週3日運行に縮小した。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課題	課題への対応方針
現在の定量的な目標達成については達成できたが、運行を今後も続けていくために引き続き利用促進策に取り組む必要がある。	利用者の利便性向上のため鉄道駅との接続等に支障がないようダイヤの見直し等隨時対応を検討するとともに、利用状況を沿線自治会に共有し、地域と共に利用促進に向け取り組んでいく。
現在、公共交通サービスが必要とされる地区で提供できていない地区についても検討を進める必要があるが、限られた財源を最大限効率的に行う必要がある。	令和3年3月に策定した地域公共交通計画において、実施すべき事業として検討することとしており、地区の特性や課題等の現状等から地区に応じたサービス内容の検討を進める。

生駒市地域公共交通活性化協議会

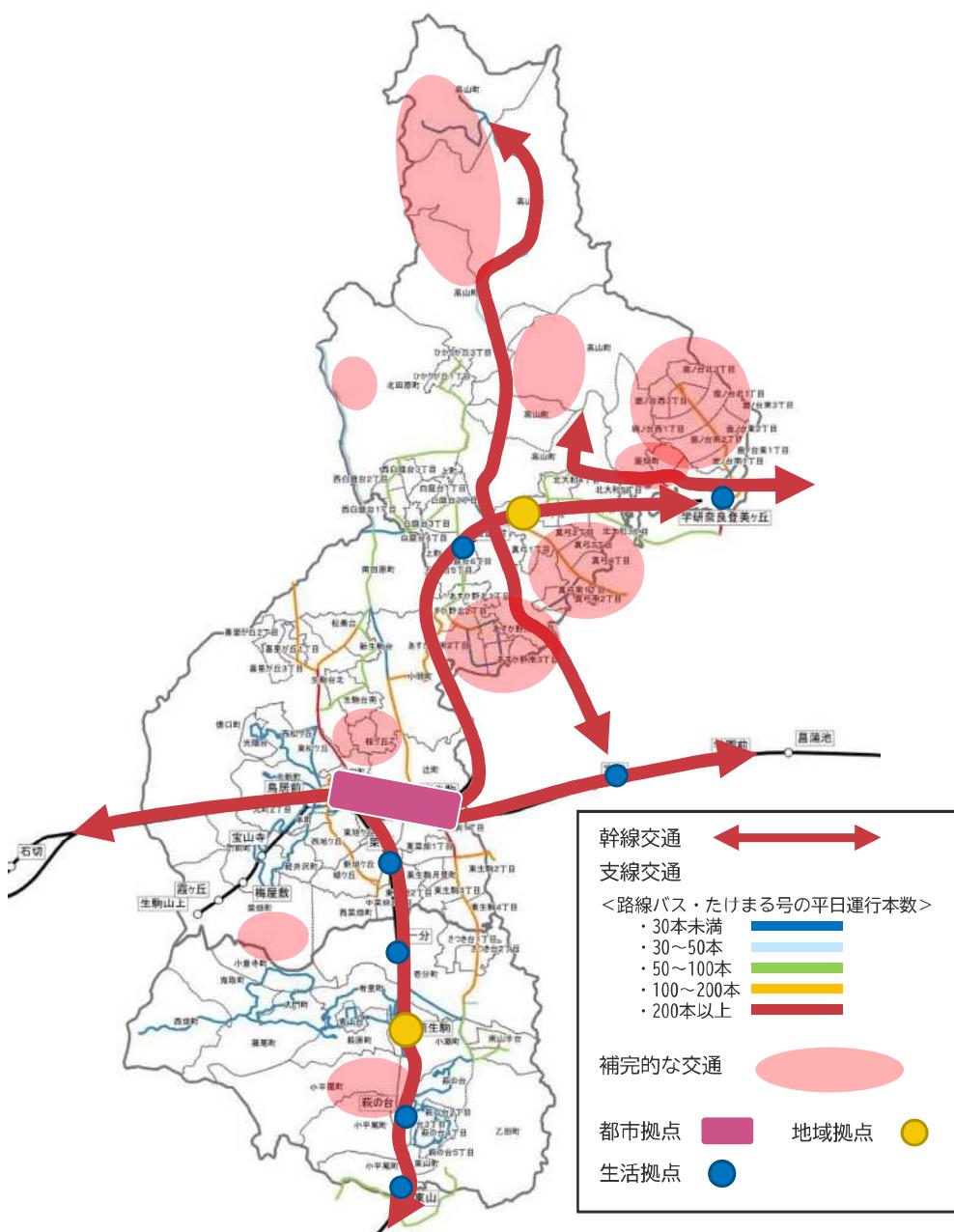
1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
目標・効果が達成できなかったものの、公共交通の利用啓発を実施するなど、利便性を向上させたことは評価できる。バス運賃100円DAYなどを実施しながら、引き続き、利用促進されることを期待する。	令和3年3月に策定した生駒市地域公共交通計画において、西畠線の維持・確保を実施事業として位置づけ、今後も継続的に運行できるよう利便性の確保及び財源の確保に向けた取り組みを実施している。 電車との乗り継ぎ時間を考慮したダイヤの見直しや、沿線地域への利用促進の案内の配布等を実施した。	引き続き、取り組みを進める。

2. アピールポイント、特に工夫した点など

- ・平成 29 年 8 月から福祉施策として実施している「生きいきクーポン券」(73歳以上の高齢者や障がい者へ配布)でコミュニティバス回数券の購入に利用できる取り組みにおいて、運行事業者とともに登録した自治会単位でも販売できるように取り組んだ。
- ・生駒市の公開する「オープンデータ」のオープンサイトにコミュニティバスの時刻表を掲載し、平成 29 年 11 月から経路検索アプリ（ジョルダン、令和元年6月からNAVITIME）でダイヤ検索を開始した。
- ・コミュニティバス「たけまる号」と奈良交通の時刻表が掲載された広告付き交通マップを公共施設等で配付した。
- ・広報いこま「いこまち」の令和3年9月号にて公共交通の特集記事を掲載し、市民への啓発を行った。
- ・生駒市地域公共交通活性化協議会にて、「生駒市の地域公共交通を守るためのアピール」を行い、ホームページに掲載した。
- ・令和 4 年 4 月に生駒市公共交通センター制度を策定し、コミュニティバス「たけまる号」を応援して頂けるサポーターの募集を開始した。
- ・令和 5 年 1 月、GTFS データを整理し、google map 上でのダイヤ検索を開始した。
- ・令和 5 年 8 月「バス運賃 100 円 DAY」を実施し、今まで利用したことのない層にも積極的に利用周知を図った。
- ・令和 5 年 11 月、沿線地域を対象にコミバスの利用促進の案内を全戸配布。
- ・令和 6 年 3 月、自治会が回数券を購入し、自治会員に配布。また、電車との乗り継ぎ時間を考慮し、ダイヤの見直しを実施。
- ・令和 6 年 8 月、バス利用を呼びかけるポスターを作成し、市内自治会の掲示板への掲出を実施。
- ・令和 6 年 10 月、生駒市で開催された地域共生社会推進全国サミットにて、コミュニティバスの紹介パネルを展示。
- ・令和 7 年 1 月、沿線地域を対象にコミバスの利用促進の案内を全戸配布。
- ・令和 7 年 4 月、利用者の要望等を参考に、電車との乗り継ぎ時間を考慮し、ダイヤの見直しを実施・沿線住民に回覧・全戸配布により周知した。

公共交通ネットワークのイメージ図



みんなで乗ろう！ たけまる号

西畠・有里線

西畠町自治会 令和7年1月



たけまる号 西畠・有里線について

南生駒駅や業務スーパー南生駒店方面へ
1日8往復の運行

平成23年に西畠線
平成25年に有里線 の運行を開始

地域のみなさんに支えられ、
利用者数は着実に増えてきましたが、
コロナ禍の影響により大きく減少しました。
令和6年4月以降、利用者は増減を繰り返しており
利用者が減ってしまうとサービス見直し等
検討する必要が出てきます。



西畠線はコロナ禍前と
比べて3～4割減少して
おり、4月以降は増減を繰り返しています。



みなさんへのお願い

利用者が減る→収入が減少→サービスが低下→利用者が減る・・・
という悪循環が生じてしまうかもしれません。

そうなると「西畠・有里線」が無くなる可能性も0%ではありません。
そうならないために、みなさんへお願いです！



たけまる号を残すために一番大切なことは、**乗ってみることです！**



まだ利用したことがない方
この機会にまずは1回、利用してみてください！



すでにご利用いただいている方は
普段より月1回多く、利用してみませんか？

生駒駅へ
お出かけ

業務
スーパー
で買物

図書館
南分館へ

DCM・サンディ
等で買物

**たけまる号で
お出かけしよう**



お買い物プラン

START

9:34
暗峠出発

約1時間ゆっくりお買い物

10:0 着 神田橋西 DCMダイキ・サンディ等 発 11:06

5

10:0 着 業務スーパー 南生駒店 発 11:04

7

GOAL

11:37
暗峠到着

START

13:00
暗峠出発

午後にゆっくりお買い物

13:31 着 神田橋西 DCMダイキ・サンディ等 発 14:4

6

13: 着 業務スーパー 南生駒店 発 14:4

4

33

GOAL

15:17
暗峠到着

読書プラン

図書館南分館でゆっくり読書！

START

9:34
暗峠出発

約1時間 読書タイム

10:10 着 南コミュニティセンター せせらぎ 発 11:01

1

GOAL

11:37
暗峠到着

START

13:00
暗峠出発

約1時間 読書タイム

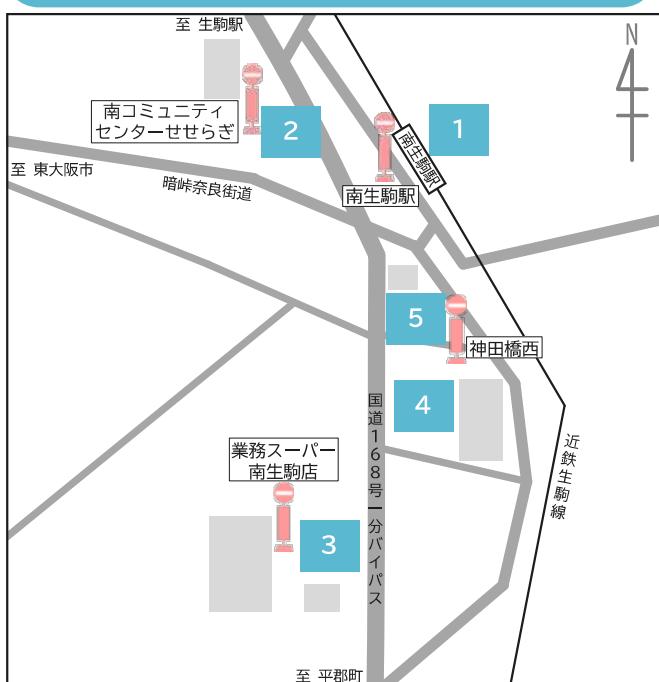
13: 着 南コミュニティセンター せせらぎ 発 14:41

36

GOAL

15:17
暗峠到着

周辺地図



西畠・有里線は
茶色っぽい車体
が目印です。
ぜひご利用ください！



(施設の名称)

1 近鉄南生駒駅

(最寄りバス停)

南生駒駅

2 南コミュニティセンター せせらぎ
(9:00~22:00)南コミュニティセンター
せせらぎ3 業務スーパー (9:00~21:00)
スギドラッグ (9:00~21:00)
など業務スーパー
南生駒店4 DCM(ダ 併) (9:00~20:00)
など

神田橋西

5 サンデイ (10:00~19:30)
など

神田橋西

令和7年3月31日～

西畠線・有里線

回覧

時 刻 表

停留所/便		有里①	西畠②	有里③	西畠④	有里⑤	西畠⑥	有里⑦	西畠⑧
南コミュニティセンターせせらぎ		8:20	9:05	10:27	11:28	13:48	14:49	16:28	17:22
業務スーパー南生駒店	↓	9:08	10:30	11:31	13:51	14:52	16:31	17:25	
神田橋西		8:22	9:10	10:32	11:33	13:53	14:54	16:33	17:27
南生駒駅		8:23	9:11	10:33	11:34	13:54	14:55	16:34	17:28
田口クリニック		8:25	9:13	10:35	11:36	13:56	14:57	16:36	17:30
南中学校		8:27	9:15	10:37	11:38	13:58	14:59	16:38	17:32
美努岡墓園		8:28	9:16	10:38	11:39	13:59	15:00	16:39	17:33
青山台中央公園		8:29	9:17	10:39	11:40	14:00	15:01	16:40	17:34
青山台第3公園		8:30	9:18	10:40	11:41	14:01	15:02	16:41	17:35
青山台集会所		8:31	9:19	10:41	11:42	14:02	15:03	16:42	17:36
レイクサイド入口		8:32	9:20	10:42	11:43	14:03	15:04	16:43	17:37
西池		8:33	9:21	10:43	11:44	14:04	15:05	16:44	17:38
むかいやま公園入口		8:35	↓	10:45	↓	14:06	↓	16:46	↓
石佛寺			9:22		11:45		15:06		17:39
やまびこホール下			9:24		11:47		15:08		17:41
大福寺					11:50		15:11		17:44
大門町集会所					11:51		15:12		17:45
小倉寺町集会所					11:55		15:16		17:49
鬼取町			↓		11:56		15:17		17:50
西畠町入口			9:26		11:59		15:20		17:53
西畠町自治会館入口			9:27		12:00		15:21		17:54
暗峠			9:31		12:04		15:25		17:58

	西畠①		西畠③		西畠⑤		西畠⑦	
暗峠	7:30		9:46		13:04		15:45	
西畠町自治会館入口	7:33		9:49		13:07		15:48	
西畠町入口	7:34		9:50		13:08		15:49	
鬼取町	7:37		9:53		13:11		15:52	
小倉寺町集会所	7:38		9:54		13:12		15:53	
大門町集会所	7:43		9:59		13:17		15:58	
大福寺	7:45		10:01		13:19		16:00	
やまびこホール下	7:47		10:03		13:21		16:02	
石佛寺	7:49	↓	10:05	↓	13:23	↓	16:04	↓
西池	7:50	8:36	10:06	10:46	13:24	14:07	16:05	16:47
レイクサイド入口	7:51		10:07		13:25		16:06	
青山台中央公園	7:52		10:08		13:26		16:07	
青山台第3公園	7:53		10:09		13:27		16:08	
青山台集会所	7:54		10:10		13:28		16:09	
美努岡墓園	7:54		10:10		13:28		16:09	
南中学校	7:55	↓	10:11	↓	13:29		16:10	↓
レイクサイド公園			8:38		10:48		14:09	
有里西			8:39		10:49		14:10	
大福寺			8:39		10:49		14:10	
西公園			8:40		10:50		14:11	
竹林寺下(有里町自治会館)		↓	8:41	↓	10:51	↓	14:12	↓
田口クリニック	7:57	8:43	10:13	10:53	13:31	14:14	16:12	16:54
南生駒駅	8:00	8:46	10:16	10:56	13:34	14:17	16:15	16:57
神田橋西	8:01	8:47	10:17	10:57	13:35	14:18	16:16	16:58
業務スーパー南生駒店		↓	8:49	10:19	10:59	13:37	14:20	16:18
南コミュニティセンターせせらぎ	8:03	8:52	10:22	11:02	13:40	14:23	16:21	17:03

運 貨

■南コミュニティセンターせせらぎ～西池・むかいやま公園入口の区間内

大人：1乗車200円
小学生・障がい者：1乗車100円

■西池～暗峠の区間内

大人：1乗車200円
小学生・障がい者：1乗車100円

■両区間にまたがるとき(例:南生駒駅～暗峠)

大人：1乗車350円
小学生・障がい者：1乗車180円



・ICカードはご利用いただけません。

・障がいの方は、運賃支払い時に手帳、又は障害者手帳アプリ「ミライロID」の画面を運転手に掲示してください。

回 数 券

大人：1枚2,000円

小学生・障がい者：1枚1,000円

- ・生駒交通本社、バス車内で販売しています。
- ・1枚1,500円の回数券も販売しています。

そ の 他

- ・乗客定員は8名で、満席時はご乗車になれません。
- ・荒天時や路面凍結時など、安全運行に支障のあるときは運休します。
HPでご確認ください。

運 行 日

月～金曜日

・年末年始(12/29～1/3)及び土日祝は運行しません。

お 問 い 合 わ せ

■運行に関すること

生駒交通株式会社

生駒市小明町1835番の1

TEL：0743-73-3131

■その他

生駒市 総務部 防犯交通対策課

生駒市東新町8番号

TEL：0743-74-1111 (内線3421)

西烟線・有里

通行ルート

